

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名		財政事情書公表事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010302000056
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	020201
政策体系	総合計画の施策名	0103 健全な財政運営の推進				主要事業	対象外	グループ	財政課
	政策名	01 市民と行政による豊かな地域の自治づくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	03 健全な財政運営の推進				未来PJ事業	対象外	財政G	
	基本事業名	02 計画的な財政運営の推進				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	05	01	00	財政管理事業		
法令根拠		桜川市財政事情書の作成及び公表に関する条例							
【Do】		1. 事務事業の現状把握(その1)							

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)				②担当者が行う業務の内容・やり方・手順			
	●財政事情書の公表 (1)公表する内容…①歳入歳出予算の執行状況 ②財産、地方債等の現在高 (2)公表する時期…①5月末日…前年度の10/1~3/31 ②11月末日…当該年度の4/1~9/30 (3)公表する手段…市ホームページに公表 ●連結財務書類4表の公表(平成20年度決算分より作成) (1)公表する内容…新地方公会計制度により作成した4表 (貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書) (2)公表する時期…3月上旬 (3)公表する手段…市ホームページに公表				●財政事情書 ①歳入歳出予算の執行状況の確認 ②財産、地方債等の現在高の確認 ③市ホームページに公表 ●連結財務書類4表 ①一般会計財務4表の作成 ②特別会計、一部事務組合の財務4表の収集 ③連結対象会計の連結作業 ④定例庁議(2月)にて報告 ⑤議会全員協議会(3月定例会)にて報告 ⑥市ホームページに公表			

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
●財政事情書 歳入歳出の執行状況等から財政事情書の作成し、市HP等にて公表を行う。 ●連結財務書類4表 市会計の財務書類4表を作成し、関係組合等の財務書類4表と連結の上、市議会等への公表を行う。		財政事情書の資料収集		件	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		連結財務4表作成のための資料収集		件	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア.市民 イ.職員		市民(人口)		人	43,190.00	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00
		職員数		人	382.00	381.00	378.00	379.00	378.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア.市の財政状況に関心を持つことができるようになる イ.市の財政状況がわかるようになる		市のホームページで市の予算・決算状況を見た人数		人	1,326.00	1,384.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移				26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0		
人件費	正規職員従事人数		人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間		時間	285.00	200.00	250.00	250.00	250.00	
	人件費計(B)		千円	827	580	725	725	725	
トータルコスト(A)+(B)			千円	827	580	725	725	725	

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)				28年度事業費 予算(千円)				
				合計	0			合計	0

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容		29年度の事業内容		30年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する							
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	財政事情書公表事業	事務事業No.	10302000056	所属課	財政課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 財政事情書については、地方自治法243条の3及び合併前からの岩瀬町、真壁町、大和村それぞれの「財政事情書の作成及び公表に関する条例」に基づき、公表を行っている。 連結財務4表については、平成18年8月31日に総務事務次官通知により、普通会計および連結ベースでの財務書類4表を作成することの方針が示されたことによる。財務4表は、法的な義務ではないが、マスコミ等の関心が高く、全国でほとんどの地方公共団体が作成している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に、意見や要望はないが、市民にわかりやすい公開を心がけている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市の財政状況について、市民に対し適切な情報提供を行うことができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	以前より財政状況の公表は、実施しているが、資産や負債にかかるストック情報、行政サービス提供のために発生したコストの情報を公表することにより、よりわかりやすく、より多角的に財政状況を理解してもらう。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	連結財務4表の中身を分析することにより、次年度の予算編成に活用する等の向上余地がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	財政事情の公表は全国の自治体で実施しており、連結財務4表についても全国のほとんどの自治体で平成20年度決算より作成公表を実施している。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	制度に基づいた事業であり類似事業や統廃合の可能性はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	業者委託を行わずに職員の手により作成するため削減は難しい。作成のために使われる時間数は多いが、作成のために必要な時間である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	この事業に対する特定の受益者はいない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	連結財務4表の作成公表だけでなく、①内容のより詳細な分析、②内容を住民にもっとわかりやすくすることの2点が課題であると思われる。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 分析には、財務分析能力と豊富な知識を必要とするため、さらに担当者の能力向上に努める必要がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(6) 事務事業優先度評価結果																							
成果優先度評価結果	⑥																						
コスト削減優先度評価結果	⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>